

2025年3月25日

各位

本社所在地 東京都港区赤坂三丁目7番13号
会社名 株式会社アエリア
(コード番号 3758)
代表者の役職名 代表取締役社長 小林祐介
お問合せ先 管理本部長 上野哲郎
TEL : 0570-000715 Mail: ir@aeria.jp
URL <https://www.aeria.jp/>

取締役会の実効性評価結果の概要について

当社は、東京証券取引所の定める「コーポレートガバナンス・コード」の補充原則 4-11③に基づき、取締役会の実効性について評価を行いました。その結果の概要についてお知らせいたします。

1. 実施内容

「質問票」による自己評価を実施しました。社内でそれらを集計し、取締役会では、主に異なる回答と提案について審議をしました。

【対象者】 当社取締役（計7名）

【実施時期】 2025年3月

【評価項目】 取締役会モニタリング

取締役会モニタリング	グループガバナンス
	グループリスク管理
	グループコンプライアンス
	内部監査

2. 評価結果の概要

本年度のテーマは、取締役会のモニタリングであります。取締役会のモニタリングについては、概ね、現状のままで良いとの評価でありましたが、充実をした方が良いとの意見がありました。

半分超の取締役が、グループコンプライアンスの充実が必要であるとの回答をしました。内部監査について、充実が必要であると回答をした取締役の方もいました。これらの2つの項目については、課題を認識及び共有をしました。引き続き、取締役会において審議をまいります。

(1) 回答の内容につきましては、以下の通りとなります。

【グループガバナンス】

全員の方が、現行のままで良いと回答をしました。

現行のままで良いとする理由は、以下の通りとなります。

- ・役員派遣によるモニタリングができています。
- ・持株会社の代表取締役は、重要なグループ会社の代表取締役を兼任しているため、経営者が期待する目的と効果が実現しやすい。

- ・一定の基準にひっかかるものについては、持株会社に事前報告又は承認を必要とする体制をとっている。
- ・中間持株会社は、各社の権限と承認を整理して、最適な権限配分をとっている。
- ・M&A 後も引き続きその会社の代表取締役を続投する場合、持株会社の株式を保有又は利益に応じた役員報酬の設計をしているため、持株会社と代表取締役の利害は一致しており、その経営責任を問えている。
- ・各会社の規模やリスクに応じたモニタリング
- ・グループシナジーの実現
- ・グループ全体の業務の適正化によるビジネスリスクの最小化

【グループリスク管理】

全員の方が、現行のままで良いと回答をしました。

リスク管理の中で重要視すべき点は、以下の通りとなります。

A. 現在の事業環境に関するリスク

B. 現在の事業内容に関するリスク

全員が、コンテンツをリリースしても、予定通りの収益があがるとは限らないと回答をしました。

C. 会社組織のリスク

全員が、会社の中心人物が病気等により業務遂行が困難になった場合、会社のビジネスに支障をきたすリスクがあると回答しました。

D. システムに対応するリスク

多くの取締役は、グループが開発したシステムがダウンした場合に、リスクがあると回答をしました。

【グループコンプライアンス】

半分超の取締役が、充実が必要であると回答をしました。

充実が必要な理由としまして、各ビジネスリスクに応じて運用面の強化が必要との事でした。

反対に、今のままで良いとする理由は、随時チェックができていない事との事でした。

【内部監査】

殆どの取締役は今のままで良いと回答をしました。

今のままで良いとする理由は、JSOX 監査にて統制行為だけでなく中身に十分に踏み込んでいるからです。反対に、充実が必要な理由としまして、各社問題点を見つけられる体制が薄いため、内部監査により補完すべきとの事でした。

- (2) 取締役会では、主に、意見が分かれる回答と提案について、課題の共有をはかりました。以下の課題については、コーポレートガバナンスの充実をはかるために、引き続き審議をしてま

います。

- ・各ビジネスのリスクに応じたグループコンプライアンスの運用面の強化
- ・内部監査の充実

3. 過年度の実効性評価の結果を踏まえた改善状況

2021年10月実施	機関設計	<ul style="list-style-type: none">・監査役会を廃止して、監査等委員会へ移行しました。・監査等委員は、取締役会で議決権を行使できるため、取締役会の監督が強化されました。・社外取締役の人員が増加しました。監査等委員は取締役のため、社外取締役の人員が1名から3名に増加しました。
2023年2月実施	IRの充実	<ul style="list-style-type: none">・今後の経営方針(2024年3月8日リリース)の中で、情報開示の拡充(P20)について記載をしています。
2023年2月実施	経営計画と経営指標の見直しと充実	<ul style="list-style-type: none">・年に2回、決算説明資料と今後の経営方針の中で見直しをしています。
2024年3月実施	女性取締役の確保	<ul style="list-style-type: none">・現在、検討中であります。
2024年3月実施	将来の経営課題 サステナビリティ/ESG/DX/ 収益力	<ul style="list-style-type: none">・サステナビリティについては、直近の有価証券報告書の中で記述をしています。・ESGの取り組みについては、今後の経営方針(2025年3月リリース P27参照)をご覧ください。・DX化の推進と収益力の向上については、slackを活用したりモートワークによる働き方改革を実施しています。・収益力の向上については、今後の経営方針(2025年3月リリース P21とP22)の中で次の様に述べています。 アセットマネジメント事業では、グループ間共同事業によるレジデンスの自社開発・外部パートナーへの卸売り等の施策を推進し、アエリアグループ全体の利益基盤に成長しました。宿泊施設も含め、物件開発を今後も進めて参ります。
2024年3月実施	PBRの向上	<ul style="list-style-type: none">・2024年は、自己株式を307百万円取得しました。

課題については引き続き審議をし、取締役会全体の実効性を更に高めていくために継続的な取り組みを行ってまいります。

以上